

日本最大級のボードゲーム専門店 高円寺の遊べるスペース「す箱」から アナログゲームの魅力を全国に発信

すごろくや

すごろくや(杉並区高円寺北、丸田康司社長、03・5327・4568、<http://sugorokuya.jp/>)は、JR中央線・総武線高円寺駅北口から徒歩2分のマンション街で営業する、ボードゲームを中心に扱う玩具小売・卸売店である。平成18年4月に個人事業として開業し、平成22年に現在地へ移転した。

同社は、海外製品を中心とした近現代のボードゲームやカードゲームを見て・触って・買える日本最大級の専門店として、日々ボードゲームの魅力を発信し、さまざまな活動を展開している。高円寺内に同社店舗と、イベントを開催したりボードゲームをその場で遊べるスペース「す箱」を運営し、休日には家族連れや若いカップルなどで賑わっている。

同社の取扱商品の中でも多くを占める、ドイツ発祥のボードゲーム。現在、ドイツは世界屈指のボードゲーム市場を持つ国であり、2007年にはいわゆるアナログゲームの総売上が4億ユーロを突破し、当時のドイツ玩具市場の17・8%に上った。20世紀後半より、ドイツが突出したボードゲーム大国になったもともと有力な説が「しっかりとした労働厚生制度のもと、残業が少なく家族で過ごす時間を多く取れるため、ボードゲーム文化が発展した」とされている。今の日本も、ドイツほどではないがアナロ

グゲームの人气が少しずつ上がってきており、成長市場として注目を集めている。

丸田社長を含め同社従業員も、ボードゲームが大好きで毎日楽しく仕事をしているという。ぜひ一度足を運んで、実際にボードゲームで遊んでみてはいかがだろうか。思わぬ発見や刺激、新しい自分の趣味が見つかるかもしれないし、「す箱」に集う人たちでゲームをしながら楽しい休日を過ごせるだろう。



さまざまなボードゲームが揃った店内

